

大会名称: 第3回FIBA U-17女子バスケットボール世界選手権大会

開催場所: City Arena Pilsen(チェコ・プルゼニ)

試合区分: No. 253 女子 決勝ラウンド・7位決定戦 コミッショナー: Serge DE COSTER(BEL)

期 日: 2014(H26)年7月6日(日)

主審: Aliaksandr SYRYTSA(BLR)

開始時間: 13:00

副審: Hamid Mohamed Hussiin MOHAMED(LBA)

終了時間: 14:35

Hortencia del Socorro SANCHEZ CARRIZALES(MEX)

<b>日本</b> (7位/通算4勝3敗)	○ <b>65</b>	18 -1st- 10 15 -2nd- 17 10 -3rd- 17 22 -4th- 16 -OT1- -OT2- -OT3-	● <b>60</b>	<b>フランス</b> (8位/通算3勝4敗)
--------------------------	----------------	---	----------------	----------------------------

第3回FIBA U-17女子バスケットボール世界選手権大会は第9日目(最終日)。大会最終日、フランスとの7位決定戦。立ち上がり、日本は#4加藤の3Pシュートから良いスタートを切ると、その後もディフェンスから相手のミスを読み、早い展開でシュートにつなげていく。前半を終え、33-27と日本リードで試合が進むが、後半に入るとフランスの反撃に合い、第3ピリオド開始4分過ぎ、37-35と初めて主導権を奪われる。その後、#11中田の連続シュートで立て直した日本は、一進一退の攻防を繰り返して、残り1分を切っても60-60の同点と緊迫した試合展開に。残り37.5秒、日本は#13赤木がドライブで相手をおかわし、逆転シュートをねじ込むと、その後フリースローを2本沈め、勝負あり。65-60、日本が全員出場で大接戦を制し、今大会を7位で終えた。

第1ピリオド、日本は#4加藤、#5水野、#6西岡、#8遠藤、#11中田でスタートする。立ち上がり、#4加藤の3Pシュートや#8遠藤のシュートで先制すると、その後も#4加藤ドライブやジャンプシュート、#6西岡のターンシュートで得点を挙げる。しかしフランスも、#7MUZETのドライブや#15DJALDI-TABDのバスケットカウントなどで入れ返し、一歩も譲らない。残り2分を切り、12-10と一進一退の攻防となるが、日本は途中交代#13赤木の連続スティールから着実に得点をつなぎ、リードを伸ばす。18-10、日本が8点リードで終了する。

第2ピリオド、日本はメンバーを入れ替え、#4加藤、#6西岡、#8遠藤、#13赤木、#15馬瓜の5人でゲームに入る。フランスはインサイドを起点に攻撃を仕掛けると、パス回しから#11BANKOLE、#10BERKANIの3Pシュート、#7MUZETの速攻などで加点する。対する日本は#4加藤、#15馬瓜のジャンプシュートが決まり、優位に試合を進めていくが、25点目から約5分間無得点となり、メンバーチェンジを繰り返す。一時2点差まで詰め寄せられるものの、#4加藤のシュートで落ち着きを取り戻し、終盤には#8遠藤の3Pシュートが決まる。33-27、日本が6点リードで前半を終了する。

第3ピリオド、日本はスタートの5人にメンバーを戻して後半に入る。フランスは高さを生かした攻撃から#13CHARTEREAUが3Pシュートを決めると、インターセプトから#7MUZETがレイアップシュートを沈め、反撃を開始する。一方の日本はミスが続いて苦しい時間帯となるが、#11中田のドライブやジャンプシュートで応戦し、流れを渡さない。その後も点の入れ合いが続き、43-44と日本1点ビハインドで勝負の最終ピリオドへ。

第4ピリオド、日本はスタートの5人でゲームに入ると、#5水野のドライブや3Pシュート、#6西岡のフックシュートやゴール下、さらに#4加藤のバスケットカウントで得点を重ねていく。一方のフランスも、#13CHARTEREAUの3Pシュートやジャンプシュート、#10BERKANIの得点で入れ返し、意地を見せる。序盤からリードチェンジを繰り返して試合が進むと、残り1分を切っても、60-60の同点と激しい攻防が続く。ゲームが動いたのは残り37.5秒、日本#13赤木がドライブで相手をおかわし、苦しい体勢からシュートをねじ込むと、残り19.3秒、チームファウルが5つめに達したフランスからファウルをもらい、フリースローのチャンスを得る。すると#13赤木がしっかりフリースローを2本決め、勝負あり。65-60、日本は今大会最終戦を全員出場て勝利した。

女子U-17日本代表チームは、7月8日(火)早朝に日本へ帰国する。

担当: 公益財団法人日本バスケットボール協会